

●ウィズコロナ下での英国生活

Covid-19 流行の後、ソーシャルディスタンスは英国で生活するうえで、すっかり身近なものとなった。規制が始まった当初はお互いの距離を取るのもぎこちなかったが、今では人とすれ違う時に自然とお互いが距離を取るなど、すっかり生活に溶け込んでいる。今回は英国における政府のソーシャルディスタンスの規制が具体的にどのような形で日常生活に反映されているかについて生活者目線で紹介する。

スーパーなどの商店は、Covid-19 の流行後、消毒とソーシャルディスタンスの確保が徹底されている。入店の際には入口に設置してある消毒液で手を消毒し、買い物かごやカートも同様に使用前に消毒する。当然、店内はマスクの着用は必須であり、マスクをしていない場合には警備員に入店を止められるが、最近ではマスク無しで入店しようとする人も見かけなくなった。店内の床にはお互いの距離を測るため 2 m 毎に線が引かれ、一部の商店では同時に入店できる人数を制限しているところもある。買い物を終えた後は一つ一つが透明の樹脂製のパーテーションで区切られた無人精算機か、2 m ごとに床につけられた印を目安に並ぶ有人のレジで精算を済ます。出口は専用出口となっており、入り口とは分けられている。また、出来るだけ一つの世帯で一人で利用することが推奨されているが、利用客は以前と比べて同じか、むしろ増えたように感じる。実際、統計では店舗の売り上げは 7～9 月の 3 か月間で前年比で 9.4% 増加¹、オンラインでの食料品の注文も前年の 9 月比で 76% 増加しており、内食の傾向が強まったことを示している。



写真：レジ手前 2m おきにあるマーク

次に、飲食店であるが、7月に再開が認められたものの、10月から再び限定的な営業となり、2回目のロックダウンでは再度閉鎖されることとなった。飲食店では7月の営業再開後、飲食店は入店前にコロナ感染の拡散防止を目的に訪問記録をとり、万が一感染者が発生した際には利用者に連絡がいく仕組みが新たに

¹ <https://www.kantar.com/uki/inspiration/fmcg/2020-grocery-sales-accelerate-as-restrictions-take-hold>

来た。この制度が開始された当初は入口に備え付けられている紙に氏名と連絡先を記入していたが、現在は店先に提示されている QR コードから NHS（国民保険サービス）の携帯アプリに訪問の登録を行う方法が一般的である。このアプリは9月24日の NHS からの正式なリリース²以降、急速に広まった印象がある。訪問した店の記録はアプリ内に21日間残り、その間に店で感染者が発生した際にはアプリから通知が来る。また、訪問した店と感染が発生した店舗情報の照合はアプリ側で行われるため、プライバシーは保護される。訪問の登録後は手を消毒し、席から注文を行うのだが、最近では机に貼ってある QR コード経由でその場からオンラインのメニューにア



写真：NHS アプリ用の QR コード

クセスして注文と支払いを同時に済ませる方法が普及している。この方法だと店員は客と接するのは注文を席に届ける時と支払いの時のみなので、非常に合理的である。また、以前と違い、路上の一部を使用する形でテラス席を設ける店を多く見かけるようになった。これは、ソーシャルディスタンス確保のため、テーブル席のみのサービスとなった飲食店への支援策として政府が店の前の路上の使用許可の規制を緩和したこととも影響している³。その他にも政府は8月には外食促進のための Eat Out to Help Out⁴など様々な支援策を打ち出しており、8月のレストランの利用客は前年と同水準まで回復するなど、成果を上げた⁵。

一方で課題もある。前述の NHS のアプリはその開発に 3,500 万ポンド（約 49 億円）が投入され、事業に関連するコンサルタント業務に 7,000 ポンド/日⁶

² <https://www.gov.uk/government/news/businesses-urged-to-prepare-for-nhs-covid-19-app>

³ <https://www.gov.uk/government/news/government-outlines-support-for-pubs-cafes-and-restaurants>

⁴ 8月の毎週月曜日～水曜日に開催された外食が50%オフのキャンペーン（アルコール飲料は含まず、1人あたり1回のレストラン利用で10ポンドまで）

⁵ <https://theconversation.com/eat-out-to-help-out-crowded-restaurants-may-have-driven-uk-coronavirus-spike-new-findings-145945>

⁶ <https://www.expressandstar.com/news/uk-news/2020/10/14/test-and-trace-consultants-paid-7000-day-rates-by-government/>

(約 98 万円) が支払われているが、トレースできたのは全体の 60% (一部試算では感染拡大防止に必要なのは 80%以上)⁷であるなど、費用対効果に一部で疑問の声が上がっている。また、Eat Out to Help Out も感染拡大を助長したとの批判もある⁸。

感染拡大により、英国は 11 月 5 日から 2 回目のロックダウンを行うことになった。今後、どうやって感染拡大防止と商業活動を両立させるか、それが市民生活にどのように反映されるのか、引き続き注目していきたい。

⁷ <https://www.themj.co.uk/Building-trust-in-test-and-trace/219081>

⁸ <https://theconversation.com/eat-out-to-help-out-crowded-restaurants-may-have-driven-uk-coronavirus-spike-new-findings-145945>